

あいにくだより



麻しん・風しん



麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%が発症すると言われています。

今年に入って37例の麻しん患者が報告されています。10月に埼玉、京都で麻しん患者の発生があったと公表されました。また、埼玉の例では、麻しんの予防接種歴がなかったことがわかりました。

今月号では麻しん・風しんについて振り返りをしてみましょう。

麻しんってどんな病気？

- 麻しんウイルスの空気感染によって起こります。感染力が強く、予防接種を受けないと多くの人がかかる病気です。
- 発熱、咳、鼻汁、めやに、発疹を主症状とします。最初3～4日間は38℃前後の熱で、一時おさまりかけたかと思うと、また39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発疹も消失します。発疹が消えた後もしばらく色素沈着が残ります。
- 主な合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などがあります。
- 先進国であっても、麻しん患者約1000人に1人の割合で死亡する可能性があります。



風しんってどんな病気？

- 風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。
- 発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。
- 合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。
- 妊婦が妊娠早期にかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気(心臓病、白内障、聴力障害など)を持った児が生まれる可能性があります。



接種対象と推奨スケジュール

第1期 1～2歳未満に1回接種します。

第2期 5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間に1回接種します。



第2期の対象者で未接種のかたには、坂出市より案内を12月下旬頃に送付しております。ご確認ください。

3月のわくわくサークルのお知らせ

「春のタペストリー作り」

日時：令和7年3月26日(水)

10:00～11:30

場所：西庄公民館1階和室



愛育会の
Instagram